

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## 四方山話 竹

### 竹の歴史と分類

タケ(竹)は古くから日本全土に分布しており、細工物や建築材として用いられてきた。竹は生長も早く風致を飾るところから、庭に植えられて観賞用としても親しまれ、松と梅とともに縁起のよい植物とされている。こうした竹の種類は多く、世界に約1200種、日本だけでも240種ほどあるといわれている。静岡県駿東郡長泉町にある「富士竹類植物園」には、日本国内や世界各地から集めた約500種の竹が観察できる日本唯一の竹の博物館があります。

日本人は昔から竹の仲間を丈の高さが大きく成長する大型のものは「竹」、比較的丈が短く小さいものを「笹」と区別してきました。しかし、竹と笹にはじつは明確な区別はありません。

いまは西洋から伝えられた分類法により、「稈(カン)」「幹(茎)のまわりについている皮がすくすく落ちるものを「竹」、いつまでも「稈」に残っているものを「笹」と呼ぶことになっています。

その結果、メダケやヤダケが笹ということになったり、オカメザサが竹ということになってしまいました。ちょっとややこしいですが図鑑等も古い名称で表示されています。

### 日本人と竹

竹林は国内のいたるところで繁殖して、日本人はほとんど古くから日常の暮らしに竹を取り入れた民族も少ない。竹は日本人の生活には身近な生活用具だけでなく、建築材、年中行事、祭礼、人生儀礼といった場面では信仰用具としても利用されてきた。私たちは竹の持つ優れた特性を活用して様々な方法で私たちの生活に必要な材料を生み出し、竹を見事に暮らしの中で利用してきた。日本の生活様式に竹の活用は広い範囲にわたるが、現在はあまり利用されなくなってきた。大きな竹はいろいろのところで利用されていたが、新幹線の架線修理用の竹梯子、踏み切りの遮断機の竹、ものさし、物干し竿、舟を漕ぐための竹竿、旗竿、土壁の芯、釣竿等は、貴重な性質は鉄のように錆びることもなく、温泉からのお湯の場合は木のように腐ることもないので推奨されていたが、石油化学の発達で樹脂製品に市場を奪われ竹が姿を消した。

現在でも竹でなくてはならない製品が日本の文化に根づいています。茶道の道具は竹であり、他の材質が変わることがなく、いまだ現役で活躍しています。一例として茶筌、茶杓、水杓等で、これ以外では剣道の竹刀、尺八は他の材質で出来たが実用にはならなかったといわれています。このように竹の需要が減少し、タケノコは中国産に置き換わりしている今、竹林を保守する人も少なくなり、各地で竹林が荒廃しています。皆様の力で元気で健全な竹林の保全をお願いしたい。

杉戸正直



## 1. 12月の主な活動内容

- ①11月19日(水) 7名:アベマキ回収、ドラム缶窯修理、炭小屋整理、チェーンソー整備
- ②11月22日(土) 18名:森の作業体験会、ヤマモモ伐倒、炭小屋下斜面地植生調査、ZFC通信印刷発送
- ③11月23日(日) 2名:神奈川トヨタ炭小屋見学対応
- ④11月26日(水) 5名:ドラム缶窯修理、上郷市民の森・間伐材引取り準備、炭小屋整理
- ⑤11月29日(土) 14名:竹林整備、アラカン林調査、ドラム缶窯修理
- ⑥12月3日(水) 9名:炭小屋周辺木材類整理、ドラム缶窯修理
- ⑦12月6日(土) 12名:「上郷市民の森」間伐材搬出
- ⑧12月10日(水) 10名:間伐材整理、ドラム缶窯修理
- ⑨12月13日(土) 14名:ホダギ材間伐、保安全管理連絡会、製材、ドラム缶窯修理
- ⑩12月17日(水) 7名:チェーンソー補修、ドラム缶窯・屋根補修、薪割
- ⑪12月20日(土) 18名:運営会、注連縄作り、忘年会、友の会望年会準備

## 2. 運営会の報告

- ①1月24日「間伐体験会」はクヌギ林の間伐を主に、詳細な運営要領を検討する。
- ②今後水曜日の活動内容については事前に活動予定を定めず、当日の出席状況に応じた内容の活動を行なうこととする。

## 3. 1月活動予定

- ①12月23日(火) 間伐材整理、友の会望年会手伝い
- ②12月27日(土) 炭小屋まわり整理清掃、ZFC通信印刷・発送、納会
- ③1月7日(水)
- ④1月10日(土) 炭小屋周辺整備、ドラム缶窯再生仕上げ、製材
- ⑤1月14日(水)
- ⑥1月17日(土) 炭小屋下9地区植生調査、炭焼用炭材準備、アラカン林枯木除伐、製材、SF準備
- ⑦1月21日(水)
- ⑧1月24日(土) 間伐体験会、池の上クヌギ林斜面地整備、運営会
- ⑨1月28日(水)
- ⑩1月31日(土) アラカン林間伐、ドラム缶窯テスト炭焼、炭小屋下9地区植生調査、SF準備、ZFC通信印刷発送、安全講習

以上